

# 高脂血症患者における牛乳摂取の血清脂質に与える影響

千葉大学医学部第二内科講師 齋藤 康  
篠宮 正樹

## はじめに

前年度において同様の対象で検討し、牛乳摂取は、血清脂質に影響を及ぼさないという傾向を認めた。しかし、その反応は個人差が見られ、多くの症例による検討の必要性が指摘された。そこで今回、さらに同様の方法で検討を進めた。

## 対象

30歳以上の女性で血中コレステロールが $220\text{mg/dl}$ 、中性脂肪が $150\text{mg/dl}$ 以上のいずれかまたは両者を有する患者11例とした。検討期間中は食事量と食習慣を変更しないこととした。牛乳は、全国牛乳普及協会より供与を受けたLL牛乳を、一日 $400\text{ml}$ 朝夕に $200\text{ml}$ づつ摂取した。採血は、4週毎に4回(0、4、8、12週)、早朝空腹時に行なった。

## 結果

各検査値の平均値±標準偏差を図に示す。図1に血清脂質(TC、TG、HDL-C)、図2にアポ蛋白A I、A II、B、図3にアポ蛋白C II、C III、E、図4に血清アルブミン、カルシウム、リンの変動を示す。

血清コレステロールは、投与前値 $246\text{mg/dl}$ 、4週 $248\text{mg/dl}$ 、8週 $252\text{mg/dl}$ 、12週 $246\text{mg/dl}$ で有意の変動を認めなかった。その他すべての検査値に、有意の変動を認めなかった。

## 結論

牛乳の摂取は、血清脂質に対して悪影響を及ぼさなかった。

Figure 1.

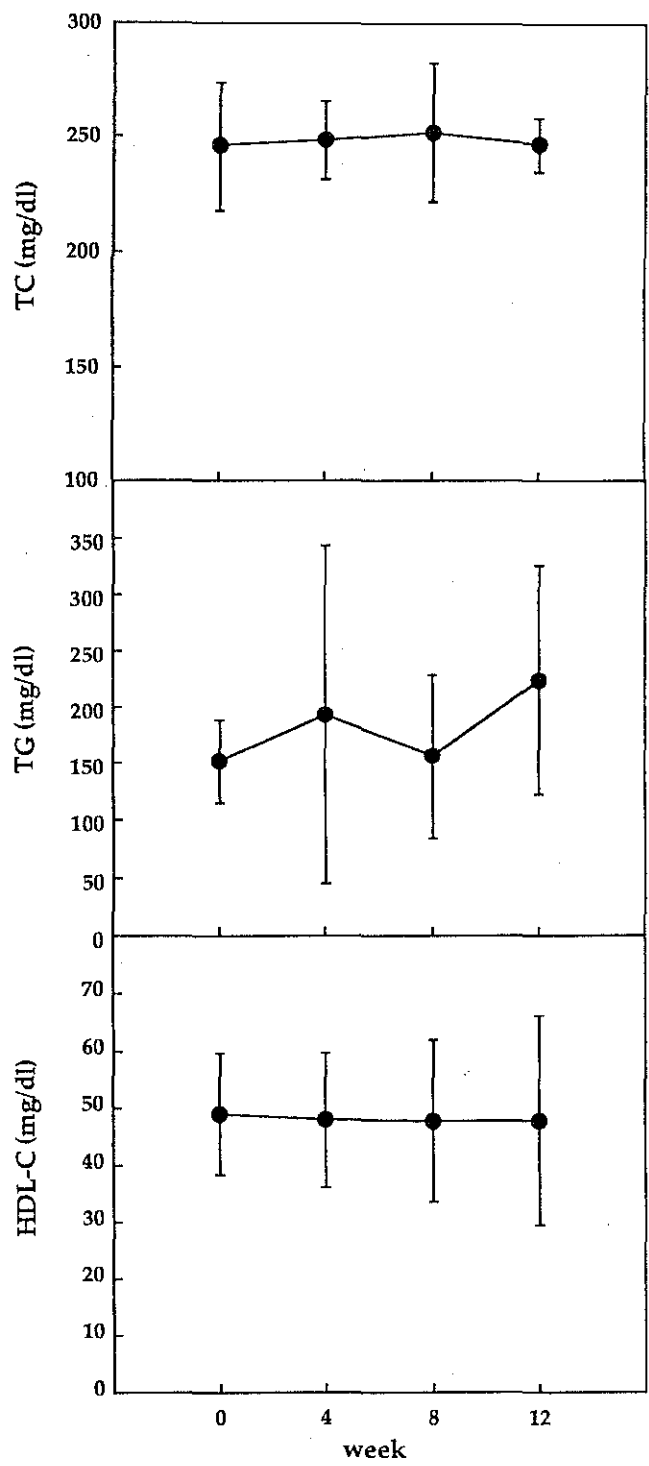


Figure 2.

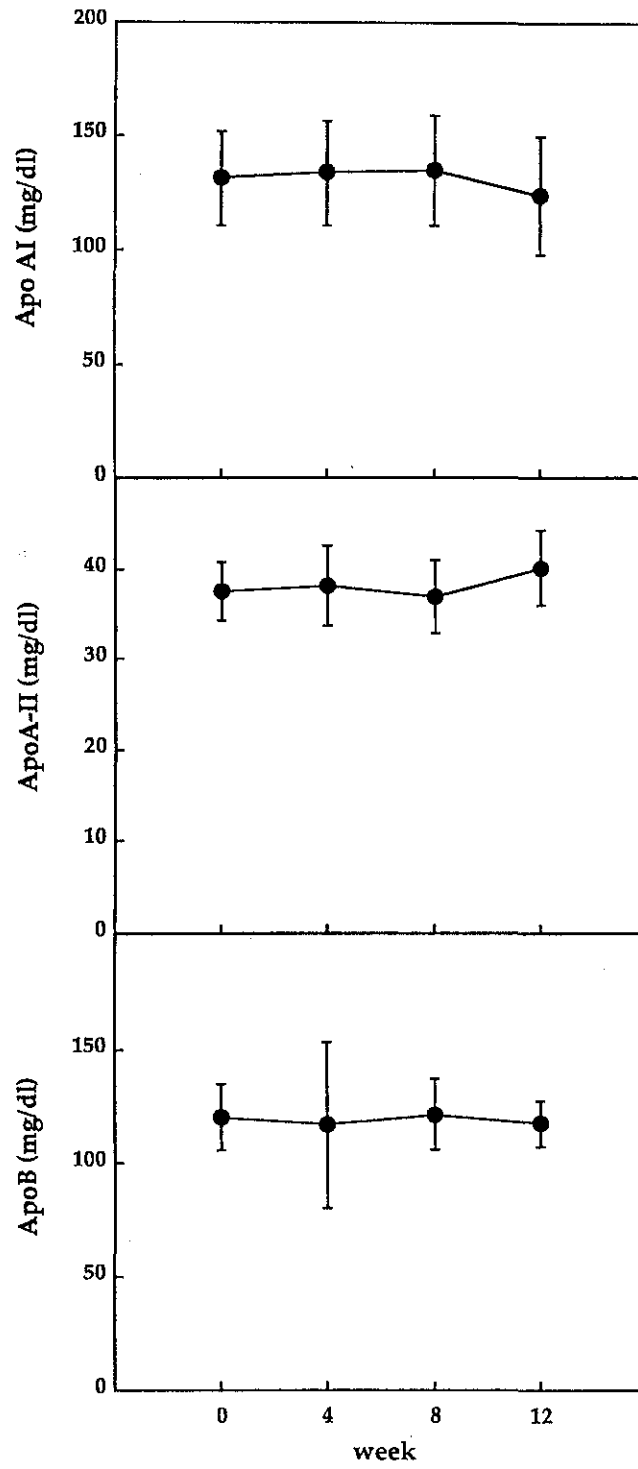


Figure 3.

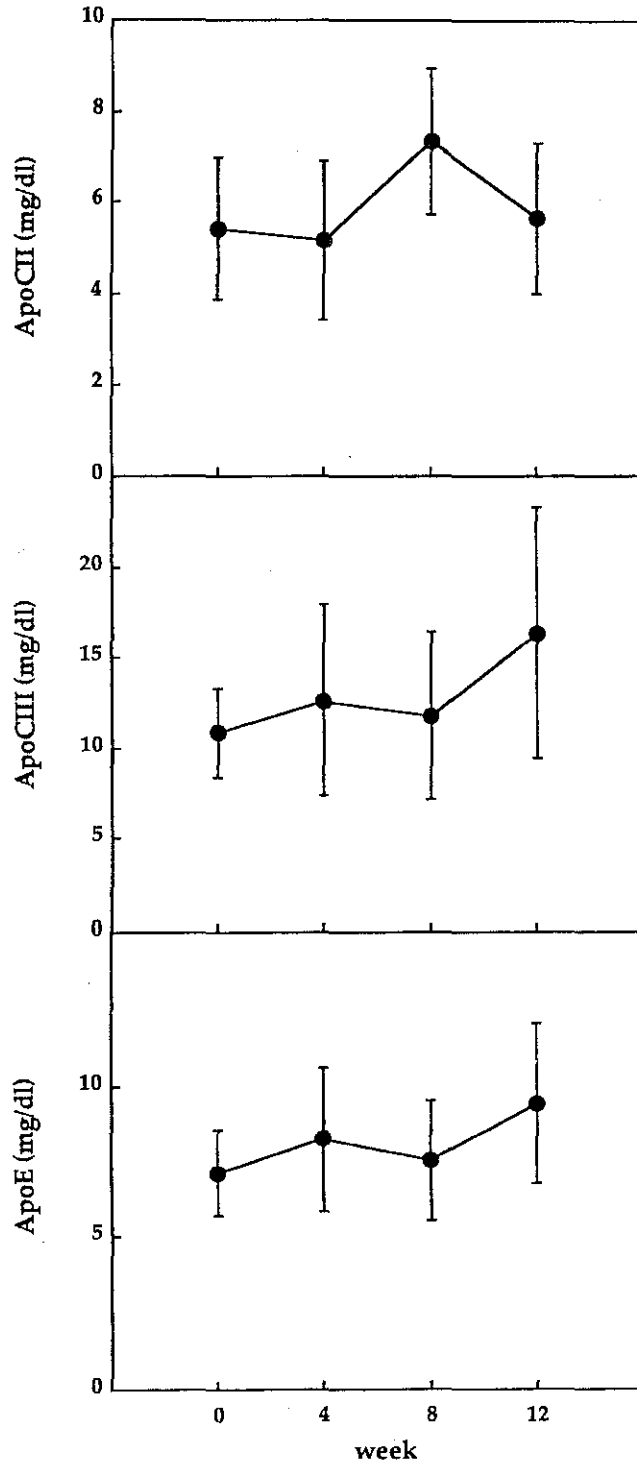


Figure 4.

